

会議録

1 附属機関の名称

犬山市史編さん委員会

2 開催日時

令和 8 年 6 月 3 日（水） 午後 3 時 00 分から午後 3 時 45 分まで

3 開催場所

犬山市役所 2 階 203 会議室

4 出席した者の氏名

（1）委員

羽賀祥二、岡本耕平、赤塚次郎、岡田雅隆、高橋秀治、中村真咲

（2）執行機関

勝村教育長、加藤教育部長、（歴史まちづくり課）渡邊課長、小川課長補佐、市野統括主査、
鈴井主査補、河寄主査補、河合

5 報告

（1）令和 8 年度の活動について

6 議題

（1）通史編の内容について

7 傍聴人の数

0 人

8 内容

1. 開会

2. 報告

（1）令和 8 年度の活動について

委員長：来年の 3 月に通史編を刊行予定である。通史編の販売価格は資料編（5,000 円）よりも
下げられるよう事務局にはお願いしている。できるだけ多くの方に手に取っていただき
たい。

3. 議題

(1) 通史編の内容について

事務局：全 12 章構成という大枠は変わっていない。細かな項目移動や内容調整が入った。例えば、第 1 章は節の順序や構成を見直し、章タイトルを「住民運動から協働のまちづくりへ」に変更した。第 2 章第 2 節は大幅なページ数の削減を行った。第 7 章第 1 節も重複した内容を再構成した。現況は序章と終章を除いて 146 項目、本文 658 ページ、全体 752 ページである。序章・終章と図版レイアウトを含めると、ページ数は増える。上限の 800 ページを超える場合は調整が必要となる。また、掲載予定の図版を一覧としてまとめた。現況は 304 点だが、今後も変動するため随時更新する。見開きに 1 点程度、最大で 320 点を見込んでいる。

委員長：現在も点検、集約作業が進行中であることをご理解いただきたい。作業の中で不具合があった部分は、流れが捉えやすくなるよう修正した。ページ数は今のところ 800 ページに近づいたが、超える可能性もある。その場合はどうなるか。

事務局：印刷製本の仕様上は「1 割程度の増減も見込む」としているが、なかなか厳しい。

事務局：部会長、事務局、編さん支援業者が原稿を通読して気になった点を「確認事項」としてまとめた。執筆者が未対応、対応が不明な項目は網掛けになっている。典拠資料との照合が未完了の項目もある。今年度は以下のような段階を踏んだ。

4 月 17 日	第 1 回専門部会(内容調整、スケジュールの確認)
～4 月 30 日	執筆者による原稿の点検・修正
5 月 2～14 日	歴史まちづくり課員による通読・赤入れ、確認事項の追記
5 月 25 日・6 月 1 日	部会長・事務局による原稿読み合わせ (文章表現の吟味、事実確認／補足説明の必要性の点検)

委員長：事実関係、文章表現、内容の重複等は編さん支援業者と事務局で丁寧に確認し、各執筆者に返している。時間的に修正作業が追い付かない執筆者もいるが、刊行スケジュールがあるので、今後も依頼を続けていく。編さん委員の方々には、ご自身の専門領域や関心ある分野を中心に、原稿をご確認いただきたい。

事務局：口絵の案を提示した。航空写真に市域を図示したもの、各コミュニティ推進協議会の活動、平成期に整備完了した施設・史跡、観光ポスター、民俗行事の様子、市勢要覧の表紙等を考えている。この画像はサンプルであり、方針が固まり次第、改めて候補写真を選定する。本文内の写真と調整し、カラーグラビアの良さを生かせる口絵とする。

委員長：口絵の選定はまだ少し時間的余裕がある。ふさわしい写真があれば、編さん委員の皆様からのご提案いただきたい。

事務局：編さん委員の皆様には、先ほど配布した原稿（6 月 2 日時点）について、事実関係の誤りや懸念事項、内容の重複等をご教示いただきたい。表記ルール等は今後の作業となるので、現段階ではご容赦いただきたい。確認期限は 6 月 30 日(火) とさせていただく。専門部会の動きとして、まずは本日の午後 6 時より第 2 回専門部会を開催し、確認状況の共有、変更箇所の調整などを行う。その後、図版や参考文献を含めて原稿を整えていく。同時並行で、市庁内の関係各課に事実関係の確認も進める。

また、編さん支援業務（原稿確認・図版作成等）は昨年度に引き続き、TOPPAN クロレ

(株)名古屋営業所への委託が決定した。印刷製本及び配送業務は資料編と同じく、西濃印刷(株)名古屋営業所が落札した。これらの業者と協力しながら作業を進めていく。今のところ8月の入稿を予定しており、9～12月にかけて3回の校正、年内の校了を予定している。詳細は今後の調整となる。年明け以降は印刷製本を行い、3月末までに通史編の完成、献本先への配送完了を目指す。

委員長：厳しい状況に変わりはないが、とにかく8月の入稿を目指して頑張りたい。何かご意見等はないだろうか。

→特になし

4. その他

- ・ 次回の委員会は令和9年2～3月の予定。進捗状況によってはそれより早い開催もあり得る。詳細は改めて連絡する。